

2/7 から 2/8 の 1泊2日、横須賀西海岸体験旅に行ってきました。

1 日目はまず、地域の方と一緒にアジフライ、けんちん汁を作りました。使われた野菜や魚は、旅の舞台である横須賀の長井地区で採れた新鮮なものを使っているとのことでした。自分は実家暮らしなので普段料理をすることがなく、アジフライやけんちん汁を 1 から作るのはかなり不安でした。しかし、地域の方が優しく教えてくださり、終始笑顔で楽しく料理することが出来ました。完成した料理はどれも美味しく、大成功だったと思います。午後は、地域の方と一緒に、凧作りをしました。小学生の頃の体験授業以来だったので、まさか大学生になって作る時が来るとは思いませんでした。3人で一つの凧を順調に作る事ができたのですが、結果としては全く飛んでくれず、凧の奥深さを実感しました。しかし、大学生になって昔の遊びをできたことは、貴重な経験だったと思います。その後は各家庭に分かれ、夕食作りなどを一緒にし、地域の方との時間を楽しみました。自分が受け入れていただいた家庭では、夕食のロールキャベツを家庭の方と一緒に作りました。実家暮らしの自分にとって、ロールキャベツももちろん自分で作ったことはないのですが、キャベツを巻いていく作業に苦労しましたが、なんとか不格好ながら作り終えることが出来ました。形はさほど上手く行きませんが、それ以上にキャベツが甘くて美味しく、普段家で食べるものとの違いをはっきりと感じました。他にも野菜を使ったおかずがありましたが、全て自分の畑で採れたものだそうで、野菜には困らない生活をしているようです。夕食のあとは、受け入れ先の方の家族の話などで楽しく談笑し、1 日目が終了しました。

2 日目は、朝食でサザエご飯が出てきて、あまりの美味しさに朝から 3.4 杯ほどお代わりしてしまいました。話を聞いたところ、この地域は三浦半島にあるため、漁業も農業と同じくらい盛んに行われている半農半漁が特徴で、サザエも長井地区で採れたものだそうでした。その話を聞いて、この三浦半島という場所の自然の恵みを感じました。朝食の後には散歩に行きました。散歩をされていて感じたことは、この地域の方々は近所との繋がりを大切にしているということです。すれ違う方のほとんどが知り合いだそうで、楽しそうに話しているのを見て、とても暮らしが充実していそうな印象を受けました。散歩では、所有しているという畑を見せていただきました。想像よりはるかに大きな畑が現れ、普段都市部に住んでいる自分たちは衝撃を受けました。様々な野菜を見せていただき、最終的には、見せていただいたほとんどを頂いてしまいました。ゴミ袋用の大きなポリ袋に入れて担いで持ち帰ったので、帰りは荷物の重さにとても苦労しました。その後はすぐ離婚式があり、仲良くなったところでの別れは寂しかったですが、地域の方の優しさ、温かさに触れられたとても充実した 2 日間でした。